

JARLコンテスト委員会が行った意見募集結果と規約改正について

2022年12月1日 JARLコンテスト委員会

当委員会では本年7月1日から7月31日までの間、ALL ASIAN DXコンテストのコンテストナンバーについての意見募集を行い、35名の方からご意見をいただきました。

10月22日にコンテスト委員会を開催して、意見募集結果およびコンテスト規約改正について検討したので、その内容を報告します。

1. コンテストナンバーについて

意見募集の結果は以下の通りでした（重複有り）。

変更案	件数
変更反対	8
CQ ZONEナンバー	6
グリッドロケーター	5
年齢もしくは”00”	5
シリアルナンバー	4
その他	12

検討の結果、これまでの伝統、海外局への告知、ロギングプログラムの対応などを考慮しつつ、ジェンダー問題や個人情報保護など昨今の流れを加味し、以下の規約改正案を作成しました。

1. シングルオペ局：RST符号による信号レポートとコンテスト開始時におけるオペレーターの年齢または”01”（ゼロワン）
2. マルチオペ局：RST符号による信号レポートとコンテスト開始時におけるオペレーターの平均年齢

2000年には男女とも年齢もしくは”00”を送るという規約改正を行いましたが、「”00”は送受信が効率化されるため、競技性を損ねる」という理由で翌年には旧規約に戻しました。

前回の改正から20年以上が経ち、性差別や個人情報に対する社会の目はより厳しいものになっています。JARL事務局や関係官庁へも意見が寄せられているとの報告も聞きます。この問題を放置することはできないと判断し、性別問わず固定のナ

ンバーを選択可能とするよう改正します。

”00”は数字が連続していることからもっとも送受信の効率が高くなるので、これを避けるために”01”というナンバーにしました。

2. その他規約改正

AA DXコンテストのナンバー以外の規約改正

AA DXコンテストではナンバー変更に加え、以下の改正案を作成しました。

- 賞状を電子化する（総務大臣賞状を除く）
- 世代別オーバーレイ賞を設ける

その他コンテスト規約改正

全コンテストに係る一部規約の改正案として以下を作成しました。

- 書類の提出締切日を「必着」とする
- アマチュア無線以外の手段（携帯電話、電子メールなど）による運用情報伝達を禁止する
- QRP種目（6D、FD）の周波数制限を撤廃する
- マルチオペ2波、マルチオペ・シングル TX（AADX）の10分間ルール起点を「最初に交信が成立してから」とする

これらの規約改正案を理事会に提案します。

◇各局からの意見の詳細につきましては、JARL Webのコンテストページ「コンテスト委員会からのお知らせ」より、ご覧いただけます。

https://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/Contest.htm